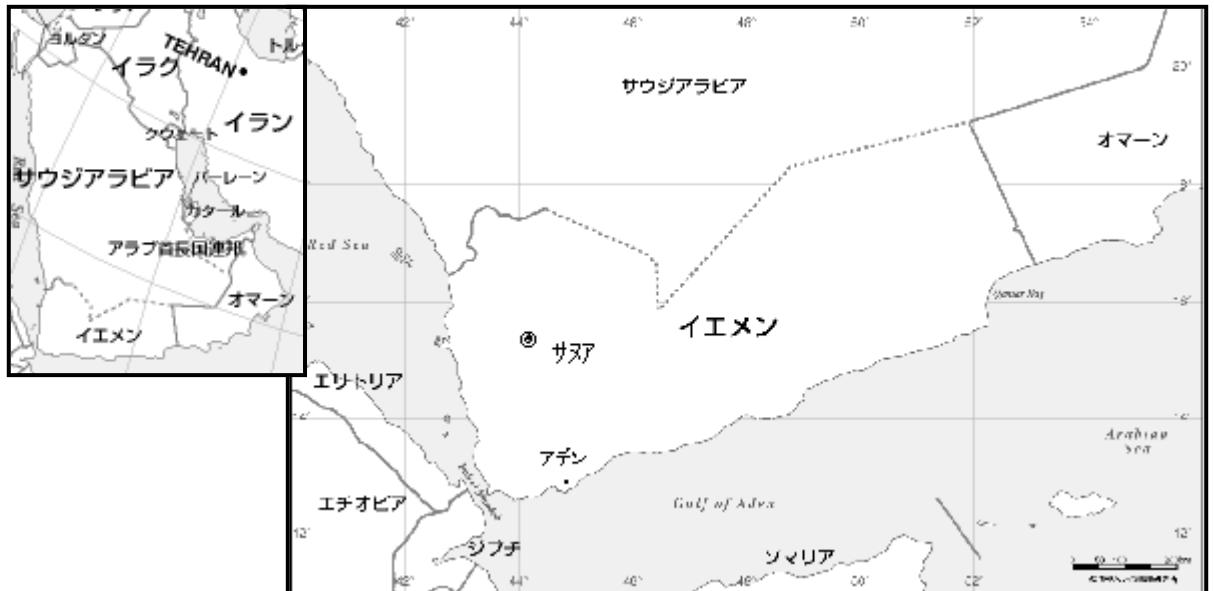


# イエメン共和国概況

平成27年8月  
外務省中東第二課



## 【基礎データ】

- (1) 面積 55.5万km<sup>2</sup>(日本の約1.5倍弱)
  - (2) 人口 約2,497万人(2014年:世銀)
  - (3) 言語 アラビア語
  - (4) 人種 主としてアラブ人(他にアフリカ系アラブ人等)
  - (5) 宗派構成 イスラム教スンニー派, ザイド派(シーア派の一派)
  - (6) 政体 共和制
  - (7) 元首 アブドゥ・ラッポ・マンスール・ハーディー大統領
  - (8) 議会 国会(一院制, 定員301名, 任期6年, 1993年設立)  
他に立法権のない諮問評議会(大統領任命の140名からなる, 2001年設立)がある。
  - (9) 政府 副大統領兼首相:ハーリド・マフフーズ・バハーハ  
外相代行:リヤード・ヤーシン・アブドラー
  - (10) GNI 347億ドル(2013年:世銀)
  - (11) 所得水準(一人あたりGNI) 1,370ドル(2013年:世銀F)
- (注)イエメン共和国は、1990年5月に南北イエメンが統一されて成立。

## 1. イエメン情勢

- (1) 2011年2月以降の反政府デモに端を発する混乱の後、2012年2月に暫定選挙で選ばれたハーディ大統領は、GCC及び国際社会の支援を受けて、33年間続いたサーレハ前政権からの政権移行プロセスに取り組んだが、2014年9月のシーア派系武装勢力ホーシー派の首都サヌア進出以降、ハーディ政権は弱体化した。
- (2) 2015年1月、サヌアでホーシー派と大統領警護隊が衝突し、ホーシー派に軟禁されたハーディ大統領及びバハーハ首相は辞表を提出。同年2月、ホーシー派が現憲法を一部無効化し、同派主導の革命最高委員会が実権を握るとする「憲法宣言」を発表。ハーディ大統領は、ホーシー派による軟禁を脱し、アデンに移動した。
- (3) 2015年3月19日、アデンの大統領宮殿及びハーディ大統領私邸が空から攻撃され、21日以降、ホーシー派民兵が南部に勢力を拡大。事態の進展を受け、24日、ハーディ大統領は、GCCに軍事介入を要請し、国外に退避し、最終的にはサウジアラビアに到着した。
- (4) 3月25日、ホーシー派がアデン市内へ進出し、翌26日、サウジ、UAE等による軍事介入が開始された。混乱に乗じ、4月2日、AQAPが南部ムカッラー市へ進出し、16日までに同市の刑務所、政府軍基地、空港を占拠した。
- (5) 4月14日、ホーシー派等に武器禁輸を課し、同派指導者及びサーレハ前大統領子息を制裁対象とする安保理決議2216が採択された。
- (6) 5月17～19日、ホーシー派を除くイエメン諸政治勢力がリヤドで会合し、新治安部隊創設、安保理決議2216実施要求、イエメン国内の安全地帯設置等を含むリヤド宣言が採択された。6月15～19日、国連事務総長は、政府及びホーシー派等が参加するジュネーブ会合を主催したが、目標とした人道停戦は実現しなかった。
- (7) 7月14～19日、イエメン政府軍及びハーディ大統領支持派がアデン市で攻勢をかけ、ホーシー派からのアデン市奪還を宣言。
- (8) 2015年3月以降の紛争の激化により、国連によると、3,261名死亡、15,811名負傷（7月6日時点、OCHA）、100万人以上が国内避難民となる等人道状況も著しく悪化。

## 2. 我が国にとってのイエメンの重要性

イエメンは、日本関係船舶が年間約2,000隻航行するソマリア沖・アデン湾と紅海に面しており、また日本が石油資源の大部分を依存する湾岸の大産油国に隣接する戦略的要衝に位置している。同国の安定は湾岸地域、アフリカの角地域のみならず我が国を含めた国際社会の利益。

### 3. 日・イエメン関係

#### (1) 対イエメン支援

日本はイエメンにとって主要ドナーのひとつ。2013年12月、岸田大臣から、①政権移行プロセス支援、②テロ対策支援、③海上保安能力支援、の3本柱を中心に支援していく方針を打ち出した。イエメン情勢が不安定化した2014年9月以降の日本の支援は、約4,000万ドルに達した。

#### ODA支援実績

(億円)

年度	円借款	無償資金協力	技術協力(JICA)
2009年度	-	33.68	5.08
2010年度	-	9.92	4.86
2011年度	-	8.23	0.58
2012年度	-	12.49	0.65
2013年度	-	4.86	1.36
計	608.49	690.06	100.11

- (注) 1. 「年度」の区分は、円借款は交換公文締結日、無償資金協力及び技術協力は予算年度による。  
2. 「金額」は、円借款及び無償資金協力は交換公文ベース、技術協力は JICA 経費実績ベースによる。  
3. 円借款の累計は債務繰延・債務免除を除く。

#### (2) 危険情報等

治安情勢悪化を受けて15年2月15日、在イエメン大使館は一時閉館。サウジアラビアのリヤドにてイエメン関係業務を継続。現在の危険情報は「全土退避勧告」。

#### (3) 要人往来(1999年以降)

##### (往訪)

- 2000年 5月 小沢辰夫特使(統一10周年記念)  
9月 福田康夫衆議院議員  
2001年 8月 丸谷佳織外務大臣政務官  
2002年 9月 杉浦正健外務副大臣  
2005年 3月 河井克行外務大臣政務官  
2006年 7月 伊藤信太郎外務大臣政務官  
2008年 6月 宇野治大臣政務官  
2009年10月 尾辻秀久元厚生労働大臣  
2014年 1月 牧野たかお外務大臣政務官

##### (来訪)

- 1999年 3月 サーレハ大統領(公式実務訪問)  
8月 ワジーフ石油鉱物資源大臣  
2001年11月 アハマディー漁業資源相  
2002年 1月 スーフアーン計画開発相

3月 カルビー外相(外務省賓客)  
 2004年 3月 イリヤーニ水・環境大臣  
 2005年 2月 シャリーフ最高選挙委員長(外務省招待)  
 11月 サーレハ大統領(実務訪問賓客)  
 2007年 8月 ウバード青年・スポーツ相  
 2008年 3月 バハーハ石油・鉱物資源相  
 4月 アルハビー副首相(経済担当)兼計画・国際協力相  
 4月 ダッビー外務筆頭次官  
 6月 アクワ外務次官補((外務省招待)  
 12月 アイドルース石油・鉱物資源相  
 2009年 2月 アッタール投資庁長官(外務省招待)  
 11月 ラーシウ・イエメン沿岸警備隊長官((外務省招待)  
 12月 ムタワツキル産業・貿易大臣(日アラブ経済フォーラム出席)  
 2010年10月 ムジャツワル首相, イリヤーニ水・環境相(COP10出席)  
 11月 カルビー外相(外務省賓客)  
 12月 ハイド内務省作戦局長(外務省招待)  
 2012年10月 アッ・サアディ計画・国際協力大臣(外務省招待)  
 10月 ワジーフ財務大臣(世銀・IMF東京総会出席)  
 2013年 9月 サッラーム観光大臣(旅博出席)  
 10月 ハーリド水・環境大臣(水銀に関する水俣条約外交会議出席)  
 12月 カルビー外務大臣(外賓)  
 12月 ムフセン投資庁長官(日アラブ経済フォーラム出席)  
 2014年9月 カルマン「束縛のない女性ジャーナリスト」代表(女性が輝く社会に  
 に向けた国際会議出席)

(了)